

デジタル田園都市国家構想交付金事業 実施状況説明書

目 次

- ・ 新たな配送サービス構築による商店街等にぎわい創出事業・・・ 1
- ・ (仮称) かつうら海中公園再生計画事業・・・・・・・ 4

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金地方創生推進タイプ

新たな配送サービス構築による商店街等にぎわい創出事業 【評価 C】

担当課：観光商工課

実績額 32,516,850 円（うち交付金 16,229,950 円）

1. 事業の目的・概要

勝浦市商店街活性化推進協議会が事業主体となり、商店街活性化と空き店舗等を活用した起業創業を目的に、時代や消費者のニーズに合ったサービスを提供するため、商工会等と連

2. 事業の内容

1. 新配送サービス構築事業

(1) 商店街等ドローン配送導入事業 18,975,000 円

商店街等 EC モールサイト構築・運営及び共同配送業務により、構築した EC モールアプリケーションからの注文及びカタログによる電話注文のあった商品を配送する一手段として、ドローン配送の有効性を図ること及び実用化を見据えた下地づくりのため、地形や電波などの調査を実施し、新規ドローンルートの開拓を集中的に行い、住民の理解を得ながら 14 ルートの開通を達成し、ドローン配送の基盤が整備できた。配送ルートの開拓の中では、ドローン配送で商品を受け取りたいという住民の要望もあり、ドローン配送体験会でも応援の声が多く、概ね住民からはポジティブに受け取られた。

(2) 商店街 EC モールの導入事業 11,990,000 円

商店街 EC モールの導入にあたっては、商店や住民などの意向から市域を 2 つに分けて展開。アプリケーションは勝浦・総野地区を対象とする勝浦バージョンと興津・上野地区を対象とする興津バージョンを構築した。また、高齢者等が利用しやすいように高齢者等でも利用率が高い LINE を使った EC モールアプリを追加開発しつつ、紙ベースのカタログによる電話注文の対応を行った。

本事業による商店街の協力店舗への売上は 358,240 円（カタログなど 214,240 円含）、配送件数は 145 件、商店街連携店舗数は 15 店舗となり、足元の利用は増加しつつあり、配送エリアや認知も広がることから次年度以降は、大幅な売上貢献の増加が期待できる。

(3) その他事務経費 56,950 円（交付金対象外経費）

収入印紙購入費 40,000 円、振込手数料 1,760 円、会長印作成費 15,190 円。

2. 調査分析事業

(1) 市内への人流分析事業 1,494,900 円

2023 かつうらビッグひなまつり期間及びその後の通常の期間において、市内商店街等への来場者数の属性データ取得、可視化、分析を行い、データに基づく商店街等活性化対策に活用すべく検証を行った。

3. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

	指標名	単位	目標値(2022)
KPI①	EC モールサイトでの売上	円	600,000
KPI②	商店街 EC モール出店店舗数	件	10
KPI③	配送サービス利用件数	件	200

(カッコ内は実績値)

	事業 開始前	2022 増加分 1 年目	2023 増加分 2 年目	2024 増加分 3 年目	KPI 増加分 の累計
KPI①	0	600,000 (144,000)	1,500,000	4,500,000	6,600,000
KPI②	0	10 (15)	10	10	30
KPI③	0	200 (145)	500	1,500	2,200

目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと(要因・課題)

【EC モールサイトでの売上及び配送サービス利用件数が目標値に至らなかった要因】

商店街等ドローン配送導入事業については、令和4年度は初年度であり、地形や電波など現地での調査に多くの工数が割かれ、配送をスタートするまでに時間を要した。

また、商店街 EC モールの導入事業については、陸上配送の基盤となる拠点づくり及び地域内の配送需要を集約するための EC モールの開発に注力したため、サービス利用について広く周知できなかった。

【課題】

ドローン配送は地形により飛行の可否が大きく関係し、ドローンを飛行させることで陸上配送よりもコストがかかる地域もあり、調査で判明したドローン配送に向かない地域については陸上配送に切り替えるなど臨機応変に対応していく必要がある。

また、商品数と出店店舗数がまだ少ないため、協力して頂く店舗数及び取扱商品の強化を行う必要がある。

要因・課題を踏まえた具体的な取組(改善策・取組方針)

【EC モールサイトでの売上及び配送サービス利用件数達成に対する取組方針】

次年度はさらなるルート開拓と同時に、より住民理解の獲得に注力する必要がある、ドローン配送サービスとしての価値を高めていく。

また、ドローン配送オペレーションのコスト削減に向けて、勝浦市民を中心としたパイロット育成も引き続き進め、令和4年度に築いた配送基盤と EC モールをフル活用させるべく、十分な告知と取扱い商品を増やすためにアンケートを行い、サービス品質の改善を図る。

委員評価

担当課の評価のとおりとする。

(仮称) かつうら海中公園再生計画 【評価 C】

担当課：観光商工課

実績額 410,663,000円 (うち交付金 199,734,000円)

1. 事業の目的・概要

海水浴場を中心とした夏季観光から通年型観光への転換が求められるなか、滞在型観光施設を整備し、魅力的な観光地の基盤づくりを強化することにより、観光産業、農林水産業等の振興を図ります。

2. 事業の内容

かつうら海中公園滞在型観光施設建設事業 410,663,000円

- ・設計費 22,000,000円
- ・施工費 379,203,000円
- ・工事監理費 9,460,000円

(1) 施設概要

名称 かつうら海中公園滞在型観光施設 eden (エデン)
位置 勝浦市吉尾234番地
敷地面積 1379.23㎡
構造 鉄筋コンクリート造
階数 3階
建築面積 336.10㎡
延床面積 730.10㎡
管理運営 指定管理者による管理運営
【指定管理者】 東京都港区西麻布1丁目10番2号
ソルト・コンソーシアム株式会社



1階：レストラン



1階：物販コーナー



3階：スパエリア



3階：スパエリア



2階：機械室



外 観

(2) 事業経過

令和3年 5月 7日	(仮称) かつうら海中公園滞在型観光施設建設事業プロポーザル審査委員会開催
令和3年 5月13日	建設工事請負契約（設計施工一括方式） 受 注 者：東京都墨田区向島1丁目33番12号 東武建設・石井建築事務所共同企業体 設 計 期 間：令和3年5月21日～令和3年7月30日 施 工 期 間：令和3年7月1日～令和4年3月18日 工事監理期間：令和3年7月1日～令和4年3月18日
令和3年11月24日	かつうら海中公園滞在型観光施設指定管理候補者選定委員会
令和3年12月16日	指定管理者の指定議決
令和4年 3月18日	工期延長（地中障害撤去等に時間を要したため） 変更後の工期 ～令和4年6月30日
令和4年 6月30日	工期延長（梅雨による天候不良のため） 変更後の工期 ～令和4年7月15日
令和4年 7月 6日	工事完成
令和4年 7月30日	業務開始

3. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

	指標名	単位	目標値(2022)	実績値
KPI ①	施設利用者数	人	60,000	27,229
KPI ②	旅行消費単価	円	11,600	7,800
KPI ③	朝市観光客	人	80,000	53,037

目標の達成等を阻害する要因及び状況の変化・目標達成に必要なこと(要因・課題)

【要因】

全てのKPIにおいて、目標値を達成することができなかった要因としては、コロナ禍によるものが大きいと考えられる。また、KPI①の施設利用者数については、業務開始が7月30日であり、当初の予定よりも遅れたことに伴い、業務日数が年間の約2/3であったことから実績が大幅な未達となった。KPI②の旅行消費単価については、調査対象としたイベント来訪者の多くが日帰り客であったため、単価が下がったと考えられる。

【課題】

令和5年5月から新型コロナウイルスが5類へ移行となり、行動制限が緩和されるなか、観光需要は今後、コロナ前に戻ることが予想される。市内の観光周遊を促進することにより、滞在時間の延長、消費機会の創出を図ることが重要である。

要因・課題を踏まえた具体的な取組(改善策・取組方針)

かつうら海中公園一帯のさらなる整備を進め、来訪客の増加や観光の目的地としての磨き上げを目指すとともに観光拠点としての充実を図る。

また、周辺施設や市内観光関連事業者と連携するとともに、情報発信の充実を図ることにより、観光周遊を促進し、地域全体の活性化及び観光振興につなげる。

委員評価	担当課の評価のとおりとする。
------	----------------